

事業番号	15 10 01	事業改善シート(令和3年度実施事業分)		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	子どもの運動・スポーツ機会の充実事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	スポーツ課	
		実施期間	S40 ~	E-mail	sports-ka@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標						
総合的に展開する重点政策	3-4 2027年国民体育大会・全国障害者スポーツ大会に向けたスポーツ振興					

1 事業の概要


事業の現状・目指す姿(予算編成時)及び実施内容	【現状】	<ul style="list-style-type: none"> 学校体育実技指導協力者派遣事業については、今年度、小学校の水泳に加え、体づくり運動、ダンスについても派遣を行うこととしたが、コロナ禍における体育授業実施への不安感から水泳授業を不実施とした学校があったり、水泳指導者の確保が困難な状況となっていることもあり、派遣校は小中合計49校と、前年度に比べ7校程度減少。 長野県版運動プログラムについては、新学習指導要領全面实施に伴い現場に即したプログラム内容へのバージョンアップの検討が必要。 部活動顧問(教員)の指導時間が、部活動指導員の配置により一部当たり1.38日/週、5.6h/週縮減。 部活動指導員、高校運動部活動における外部人材任用希望数の増加している。専門的な技術指導及び教員の負担軽減の実現に向けて、更なる予算拡充が必要。
	【目指す姿】	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの運動・スポーツに親しむ機会が充実することで、運動の習慣化及び、子どもの体力・運動能力が向上する。 運動部活動を充実することで、本県の中高生の体力の向上や、生涯にわたってスポーツに親しむ資質を育成する。 幼児期から運動遊びに取り組みことで、体を使った遊びが好きで、屋内外で運動をする元気な子どもたちを増やす。
	【実施内容】	<ul style="list-style-type: none"> 各校の新型コロナウイルス感染予防対策に柔軟に対応しながら、学校体育実技指導協力者派遣事業を継続実施し、子どもが運動の楽しさや喜びを味わう機会を創出するとともに、学校体育の充実に向けた体育・保健体育担当教職員の指導力向上を図る。 長野県版運動プログラム普及定着事業により各校への講師派遣を実施するとともに、プログラム内容の見直し及び追加プログラムを作成することで、子どもの体力向上のための「運動プログラム」の普及・啓発を図る。 年々の任用希望増加及び更なる部活動の専門的な技術指導及び教員の負担軽減をねらい、部活動指導員・高校外部人材の増員をすることにより地域への移行を推進し、持続可能な運営体制による運動部活動の充実を図る。

指標の状況及び目標値 [△:改善、▽:悪化、→:変化なし、—:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度目標値	達成状況
1	体力合計点(小中男女)	点	50.4	スポーツ庁調査中止	—	49.4	▽	51.7	未達成
2	運動することが好きな子どもの割合(中学生女子)	%	79.1	スポーツ庁調査中止	—	75.4	▽	79.8	未達成
3									
4									
5									

区分(単位:千円)	R1年度	R2年度	R3年度
前年度繰越額			
当初予算額	52,857	52,389	55,631
補正予算額	-6,530	-32	0
合計(A)	46,327	52,357	55,631
うち一般財源	27,576	29,012	18,850
決算額(B)	33,056	33,388	34,295
職員数(人)	7.0	7.0	7.0

成果指標及び目標値の設定理由	1.本県の子どもの体力・運動能力等の状況を把握するため、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における体力合計点を指標に設定 2.本県の子どもの運動やスポーツに対する関心を把握するため、体力や運動時間の面で全国平均を下回っている中学生女子について、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における質問紙を指標に設定
達成状況の分析	1.コロナ禍における運動機会の減少により、目標値を達成することはできなかった。全国的に体力低下の要因として挙げられている①運動時間の少なさ②スクリーンタイムの増加③肥満傾向の児童生徒の増加のうち、本県では運動時間の少なさが課題になっている。 2.コロナ禍における運動機会の減少により、運動する心地よさや仲間と活動する楽しさを味わう機会が減ったと考えられるが、ヨガやエクササイズ等、家でできる多様な運動種目を発信したことにより、週の運動時間の少ない生徒の割合は少なくなっている。

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○学校体育の充実に向けた体育・保健体育担当教職員の指導力向上 ・実技指導協力者事業により堪能な指導者を学校に派遣することで、体育授業の充実と運動好きな児童生徒の育成を支援。 ・体育・保健体育指導力向上研修(中央研修会)等に教員・指導主事・専門主事を派遣し、その内容を全県へ伝達することで、新学習指導要領に基づく指導の充実及び安心安全な体育授業の実施を支援。 ○運動部活動の充実 ・中学校、高校の部活動において専門的な指導による適正な運営と教員の負担軽減を図るための、部活動指導員任用補助を拡大。 ・高校運動部活動の専門的な技術指導力を有する外部指導者を増員。 ・短時間で効率的・効果的な活動を目指すため、指導者研修会の開催及びアスレチック・トレーナー・トップアスリート等の派遣を継続実施。 ○子どもの体力向上のための「運動プログラム」の普及・啓発 ・体育・保健体育で扱う運動領域の系統性に着目した運動遊びの充実及び、当プログラムを通して進んで体を動かそうとする児童生徒を育成に向け、長野県の子どもの体力向上委員会での内容の検討及び追加プログラムを作成。 ・当プログラムの普及に向け、幼保小中の教職員、地域指導者、保護者を対象にした出前ゼミナールを開催。 ・当プログラムの定着に向け、総合型地域スポーツクラブの指導者を養成する研修講座を行うとともに、総合型地域スポーツクラブの指導者を小学校に派遣。
------	--



(長野県版運動プログラム普及事業の様子)

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響もあり、依然として週の総運動時間の平均値は、全国に比べ、小中男女全てのカテゴリーで低くなっている。運動部やスポーツクラブに所属する児童生徒だけではなく、日常的に全く運動をしないという子どもに視点を当て、多様な趣味を持つすべての子どもたちの生活の中に運動があることを目指す必要がある。そのために、体力向上や技術力向上だけではなく、「運動することの大切さ」を学ぶ機会が求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍に実感した「運動機会の減少による心身の不調」等の問題点を子ども達と共有し、食事、睡眠、健康維持、心の安定など多面的な「運動の価値」を学ぶ健康教育の充実を図る。また、「運動量」だけではなく日常の中の「活動量」を増やすことに視点を当て、1人で家でゆっくりできる簡易的な運動、ストレッチ、ヨガ、密になることを避けたウォーキング、毎日の徒歩通学等、多様な運動コンテンツを発信していく。

事業名	子どもの運動・スポーツ機会の充実事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	スポーツ課
-----	---------------------	----	----------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	学校体育指導充実事業費	2,816 千円	3,100 千円	2,429 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	オリンピック・パラリンピック教育推進事業	直接	本県オリ・パラ推進校にて、スポーツの価値や共生などへの理解を深めるための体験会や講演会を実施した。また、その実践を県内の公立校へ発信し、当教育の普及を図った。(推進校:10校)
2	学校体育実技指導協力者派遣事業	直接	実技指導の堪能な指導者を小・中学校に派遣することで、体育授業の充実を図った。(遣校数:56校)
3	小・中、学校体育・スポーツ研究協議会	直接	小中学校全体育主任等を対象とし、体育科経営に関するマネジメント能力及び授業力の向上を図るための研修をオンデマンド視聴の形式で開催した。(オンデマンド視聴者数:533人)

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
2	運動部活動改革事業費	29,448 千円	29,265 千円	30,923 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	部活動指導員任用事業費補助金	補助金	中学校部活動の専門的な指導による適正な運営と教員負担軽減のため、部活動指導員を任用する市町村を補助した。(任用希望:42市町村、122校、162名)
2	外部人材による高等学校運動部活動支援事業	直接	高等学校の運動部活動に、専門的な技術指導力を有する外部指導者を派遣し、地域社会との連携を深めるとともに、運動部活動の充実と活性化を図った。(派遣予定 70校、105人)
3	高等学校における部活動指導員任用事業	直接	高等学校の運動部活動に、専門的な技術指導力を有する部活動指導員を任用し、専門的な指導を求める生徒のニーズに応えるとともに、教員の負担軽減を図った。(任用希望:10校、10名)
4	運動部活動支援事業	直接	運動部活動指導者を対象とした研修会の開催、アスレチック・トレーナーやトップアスリート等の指導者の派遣を実施した。(研修回数:1回、派遣人数:7人)

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
3	長野県版「運動プログラム」普及定着事業費	792 千円	1,023 千円	942 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	総合型指導者による実技指導	直接	長野県版運動プログラムの定着を図るため、総合型地域スポーツクラブの指導者を養成する研修講座を行うとともに、総合型地域スポーツクラブの指導者を講師として、放課後の運動教室を開催した。(3市町村:56回)
2	「体づくり運動」実技講習会事業	直接	本県の小中学校の課題の体力・運動能力の向上を目指し、専門的に研究を行っている講師を学校に派遣し、授業での活用や一校一運動の充実を図った。(講習会開催数:12回)
3	キッズ運動遊びどこでもゼミナール	直接	長野県版運動プログラムの運動遊びの普及を図るため、休日の運動教室や小学校の体づくり運動の授業に講師を派遣し、体育授業の充実や教員の資質向上を図った。(ゼミナール開催数:9回)